

福島学院大学大学院心理学研究科 臨床心理学専攻

令和 5 年度入学選抜 B 日程
－臨床心理学とその関連基礎－

受験番号	
氏 名	

番号	
----	--

1. ①～⑥までの（ ）にあてはまることばを語群から選択し、その記号を解答欄に記入してください。

Binet, A.と Simon, Th.によって、知的障害児の鑑別のために作成された世界初の知能検査を（ ① ）という。

Lowenfeld, M.の世界技法をもとにして、Kalff, D.によって考案された心理療法を（ ② ）という。

認知行動療法で用いられる自身の考えや感情、行動などを観察、記録する技法を（ ③ ）という。

うつ病にみられる妄想として、健康面に関する（ ④ ）や金銭面に関する（ ⑤ ）が挙げられる。

アメリカ精神医学会による DSM-Ⅲから導入された疾患に特徴的な複数の症候リストから、該当する項目数によって行う診断基準を（ ⑥ ）という。

語群

- a. 箱庭療法 b. 除外基準 c. ビネー式知能検査 d. 迫害妄想 e. モデリング
 f. セルフ・モニタリング g. 貧困妄想 h. 遊戯療法 i. シェイピング j. 自由連想
 k. DAM グッドイナフ知能検査 l. 自己教示訓練 m. 被影響妄想 n. 操作的診断基準
 o. K-ABC p. 内観療法 q. 心気妄想 r. バウム・テスト s. ゲシュタルト療法
 t. 半構造化面接

解答欄

① c	② a	③ f	④ q	⑤ g	⑥ n
-----	-----	-----	-----	-----	-----

番号	
----	--

2. 以下の文章に関して、正しいものには○、間違っているものには×を解答欄に記入してください。

- 1) 統合失調症では、気分が高揚し、自信に満ち、自分が世界の中心であるかと思うようになる。
- 2) 精神力動的心理療法では、症状に対する無意識的意味を理解しようとする。
- 3) 心的外傷後ストレス障害では、出来事の原因や結果についての歪んだ認識をもつ。
- 4) 新版 K 式発達検査で算出するのは精神年齢と生活指数の 2 つである。
- 5) WPPSI-III の対象年齢は 16 歳 11 か月までである。
- 6) TAT では被験者が提示される図版を見て、ストーリーを作るように求められる。
- 7) Gendlin, E. T. によるフォーカシングでは、身体 of 言葉にならない意味の感覚を感じられるように援助する。
- 8) ジョイニングはゲシュタルト療法で用いられる技法の 1 つである。

1) ×	2) ○	3) ○	4) ×	5) ×	6) ○	7) ○	8) ×
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

番号	
----	--

3. 以下の問いに答えてください。

- 1) 認知症の症状である、中核症状と行動・心理症状の2つの違いに関して、下記解答欄の中に簡潔に説明してください。

中核症状とは、脳神経の障害によっておこるさまざまな認知機能障害のことであり、行動・心理症状とは中核症状と身体的要因、環境要因、心理社会的要因などとの相互作用によっておこるさまざまな行動的、心理的問題を指す。

- 2) 危機介入について下記解答欄の中に簡潔に説明してください。

災害、事故、病気、身近な人の死などによって、情緒的な均衡が崩れた状態を危機とよび、危機状態にある人に対して情緒的な均衡を回復するための短期集中型の介入を危機介入という。

番号	
----	--

4. ①～⑩までの()の中に入る適当なことばを語群から選び、その記号を解答欄に記入してください。

感情に関する古典的理論は二つあげられる。末梢起源説で、人は悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しいのだと唱えた (①) と、中枢神経系の作用を重視した感情の中枢起源説の (②) である

記憶に関して、一次的な情報の保持は、単純に記憶しているだけではない。情報を保持しながら別の操作を行っている。Baddeley, A.は情報の保存だけではなく、その処理をも想定した (③) という概念を提唱した。

経験による比較的永続的な行動の変容を (④) と定義している

神経系は、基本的に二種類の細胞によって構成されている。(⑤) と (⑥) がそれである。(⑤) は、化学的、あるいは電氣的に信号を送るために特殊化された細胞である。

乳幼児が、養育者あるいは特定の人との間で形成する情緒的な結びつきのことを、(⑦) という

Festinger, L.の (⑧) によれば、自己や自己を取り巻く環境に関する認知的要素の間に矛盾や食い違いが生じると、不快な緊張状態がもたらされる。その際人は、認知要素の一方を変化させたり、新たな認知要素を加えたりすることによって、矛盾や食い違いを解消しようとする。

(⑨) は発達的なことばの障害であり、言語獲得自体は問題が無く、不自由なく会話できるが、読みことば、書きことばの獲得や運用に困難を示すという特徴がある。

何かを覚えようとする時、その時の気分と記銘される情報の内容が一致している場合に、一致していないときと比較すると記銘されやすくなる。これを (⑩) という

番号	
----	--

語群

- a. 認知 b. 気分一致効果 c. ゲシュタルト説 d. グリア細胞 e. バランス理論
 f. エピソード記憶 g. 認知的不協和理論 h. ジェームズ＝ランゲ説 i. 愛着
 j. シナプス k. 発達性ディスレクシア l. ワーキングメモリ m. 学習
 n. キャノン＝バード説 o. 失語症 p. 同時記銘効果 q. ニューロン

解答欄

① h	② n	③ l	④ m	⑤ q
⑥ d	⑦ i	⑧ g	⑨ k	⑩ b

番号	
----	--

5. 次の文章を読んで、下の問いに答えてください。

パーソナリティを考える場合大きく二つの方向性が認められる。ひとつは人間をいくつかの集団に分類し、各集団内の人に共通する典型的な特徴を記述するというものであり、(①)と呼ばれる。もう一つはパーソナリティを細かい要素である特性に分け、一つ一つを量で表現する手法であり、特性論と呼ばれている。特性論的研究のなかで、Goldberg, L. R.はデータを因子分析すると5因子の構造にまとまることを示し、この5因子構造を(②)と呼んだ。(②)とは5つの次元で人間のパーソナリティを記述するものである。5つの次元とは1(③)、2神経症傾向、3(④)、4(⑤)、5勤勉性の五つである。そのうち(③)は、これが高くなると活動性や社交性などの向上やポジティブな感情を持つことなどで特徴づけられるものである。また(④)は、これが高くなると多様なものに興味を持ち、伝統的なしきたりなどにはあまりこだわらない傾向が見られ、知能や創造性に関連するとされている。また(⑤)は、これが低くなると、攻撃性が高くなり、他者を批判しがちで冷淡になるといった特徴につながるとされている。

1) ①に当てはまることばを下記語群から選び、その記号を解答欄に記入してください。

語群

a. 同型論 b. 差性論 c. 気質論 d. 類型論 e. 概念論

解答欄

d

2) ②に当てはまることばを解答欄に記入してください。

解答欄

ビッグファイブ

3) ③④⑤に当てはまることばを下記語群から選び、その記号を解答欄に記入してください。

語群

あ. 希求性 い. 同調性 う. 開放性 え. 協調性 お. 調整性 か. 変動性 き. 外向性

解答欄

③ き	④ う	⑤ え
-----	-----	-----

番号	
----	--

6. クライエントに関する情報提供が、秘密保持よりも優先される状況が1)～5)に記述されています。そのうち、適切と思われるものには○、適切ではないと思われるものには×を解答欄に記入してください。

- 1) クライエントが虐待されていることが疑われる場合
- 2) クライエントに直接関係がない専門家の研修会で事例として取り上げる場合
- 3) 成人のクライエントについて、一親等の家族から情報開示の請求がある場合
- 4) クライエントとの面接で、誹謗中傷される相手が特定できる可能性がある場合
- 5) クライエントが自分自身の精神状態や心理的な問題に関連して訴訟を起こし、その裁判所から要請がある場合

1) ○	2) ×	3) ×	4) ×	5) ○
------	------	------	------	------

